

投資事業評価調書(新規)

部課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 高瀬 陽太郎 (交通施設係長 横山 一也)	内線	4389 (4399)
------	-------	---------------------	---------------------------------	----	----------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 8.0 億円
		交通安全施設等整備事業 (一) 下立杭柏原線 <small>しもたちくいかいばら</small>	篠山市今田町 <small>こんだちょう</small> 下立杭～上立杭 <small>しもたちくい かみたちくい</small>	内用地補償費	約 4.2 億円
所在地			着手予定年度	完成予定年度	
篠山市今田町下立杭～上立杭			平成 25 年度	平成 29 年度	
事業目的			事業内容		
当路線は小学校の通学路になっているとともに、中学生が自転車通学で利用している。歩道がないため、通勤、通学時間帯には自動車と歩行者、自転車が輻輳して危険な状態になっている。このため、歩道を整備し、通学路の安全・安心を確保する。			歩道整備 (片側) L=1,200m W=2.0m(2.5m) 現況 歩道なし 〔負担割合 国:5.5/10 ,県:4.5/10〕		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 [周辺状況]	<ul style="list-style-type: none"> 当該区間は今田小学校の通学路になっているとともに、今田中学校の生徒が自転車通学で利用している。 沿線には伝統工芸品の丹波立杭焼きの窯元が多数点在し丹波伝統工芸公園「立杭陶の郷」を中心とした観光客も多い。 				
[交通状況]	<ul style="list-style-type: none"> 自動車交通量が比較的多い。(自動車 2,833 台/日、歩行者 70 人/12hr、自転車 36 台/12hr、大型車混入率 8.3% (H24.4 実測)) 				
[交通事故]	<ul style="list-style-type: none"> 過去 3 年の全事故件数は 1 件。 (内、歩行者や自転車が関係する事故件数は 1 件。) 				
(2)有効性・効率性 [効果]	<ul style="list-style-type: none"> 通学で利用している小・中学生だけでなく、立杭焼きの窯元を巡る観光客の安全が確保され、歩行者と自動車との通行場所が明確となり交通事故の削減が期待できる。 歩道整備と合わせて電線共同溝を実施することにより立杭焼きを中心とした町並み景観の向上が期待できる。 				
[事業執行環境]	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全総点検(H24.5.17 実施、住民、道路管理者、警察等 8 名)の参加者が、通学児童の路肩通行時の危険性を指摘し、歩道設置を求めている。 自治会長より歩道設置の要望書が平成 24 年 2 月に提出されている。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的景観形成地区にふさわしく、無電柱化や色彩に配慮した車両用防護柵の設置など、景観に配慮した取り組みを行う。 歩道舗装を透水性舗装とすることにより、雨水の地下への還元を図る。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の通学路であり、学校関係者および市・地元自治会から歩道設置の要望が強く、用地取得に向けて地元役員の協力体制が整っており、全面的な協力のもと早期の完成が見込まれる。 計画区間の歩道整備により、当該校区の連続した通学路が確保される。 				

事業概要図

歩道整備
 (一)下立杭柏原線
 篠山市今田町下立杭～上立杭
 (交通安全施設等整備事業)

(一)下立杭柏原線 歩道整備 L=1,200m、W=2.0(2.5)m 片側

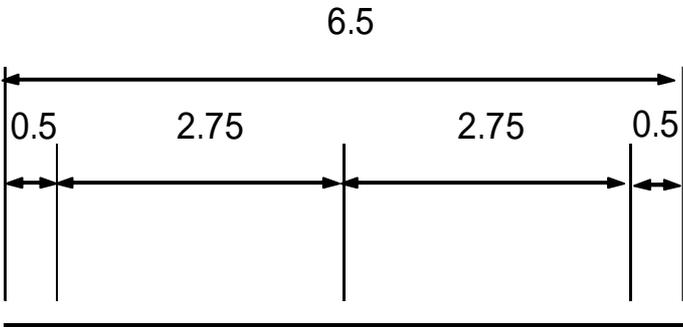


< 凡 例 >

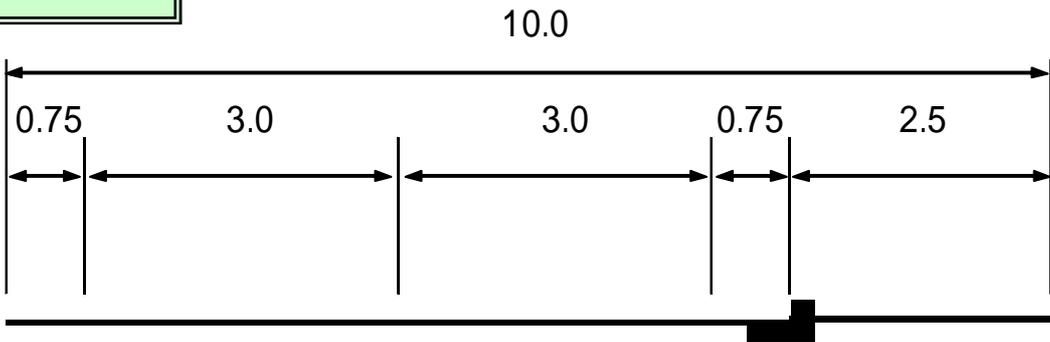
	県道		福祉のまちづくり重点地区
	既設歩道		歴史的景観形成地区
	事業区間		
	小学生通学路		
	中学生通学路		

標準断面図

整備前



整備後



事業スケジュール

	工程				
	H25	H26	H27	H28	H29
調査設計	■				
用地補償		■			
工事			■		

状況写真

